

●新刊図書紹介 (★…ピックアップ図書 3ページ目に詳細を記載しています)

図 書 名	著 者	出 版
地 方 自 治		
★ 自治体広報はプロモーションの時代からコミュニケーションの時代へ	鈴木 勇紀	公人の友社
ま ち づ くり		
★ まちを元気にする！自治体政策のつくり方	浦野 秀一	学陽書房
★ インバウンドの聖地50選 インバウンドへのアプローチ	伊藤 雅雄	キョーハンブックス
白 書		
厚生労働白書 平成27年版 人口減少社会を考える	厚生労働省(編)	日経印刷
介護白書 平成27年版 老健施設の立場から	全国老人保健施設協会(編)	オフィスTM
公民連携白書2015～2016 人口減少対策	東洋大学PPP研究センター	時事通信出版局

## 九度山・真田ミュージアムがオープン！



今年の大河ドラマ『真田丸』。主人公・真田信繁(幸村)のゆかりの地が和歌山県ということで、ご覧になっている方も多いのではないのでしょうか。もちろん、歴史好きな私も毎週欠かさずチェックしています！

真田家と関係の深い場所は和歌山県九度山町にあり、信繁と父・昌幸が、関ヶ原の戦いでの敗戦後、蟄居を命じられた場所として有名です。その九度山に今年3月、「九度山・真田ミュージアム」が開館しました。さっそく訪れた様子を紹介したいと思います。

私が訪れたのは、オープンから1週間後の日曜日でした。混んでいるだろうと覚悟はしていたのですが、なんと入場には制限がかかり、展示室内に入れたのは約1時間後！想像を上回る盛況ぶりに、まず驚いてしまいました。

入口を入ると、まず真田親子三代の等身大像がお出迎えしてくれます。圧倒されつつ展示室内に入っていくと、見やすく配置された展示が並びます。展示は真田親子の足跡を順にたどるもので、特に九度山での時代は、迫力の映像と住んでいた屋敷を模したセットでくわしく紹介されていました。真田信繁がどのような人生を送ったのか、実際の書簡や道具なども見ながらじっくりと学ぶことができました。

そして現在、企画展示のコーナーでは「くどやま『真田丸』大河ドラマ展」が開催されています。ドラマの撮影で使われた台本、道具などが展示されていたのですが、中でも実際に俳優さんが袖を通したという衣装が見れたのには感激でした！出演者のサインも飾っており、大河ドラマの世界に浸ることができます。



さらに、ミュージアムではうれしいサービスがあり、館内入口の真田親子像の前で記念写真を無料で撮ってもらえます。展示を見終わった頃に写真を受け取ることができ、とてもいい記念となりました。

また、周辺には真田親子の屋敷跡の「真田庵」や、抜け穴に使っていたといわれる「真田古墳」など、真田ゆかりの名所が点在しており、町中が多くの人で賑わっていました。5月7、8日には「紀州九度山真田まつり」も開かれるそうで、九度山は今とても活気付いています。みなさんも一度行かれてみてはいかがでしょうか。



エントランスの真田三代の像

入館料:大人 500円 小人 250円